

「めざそう値」の達成度等の点検評価

「那覇市立図書館」運営の基本的な考え方の点検評価基準（別紙 3）に基づき、「施策（事務事業）の進行管理チェックシート」（別紙 4-（1）（2）参照）を活用して、「めざそう（目標）値」の達成度や評価の観点ごとの点数・コメント及び総合評価点数等を踏まえて、那覇市立図書館協議会委員で外部評価した。

点検評価事務事業（令和 5 年（2023 年）度分）

課 題	施策名 (チェックシート)	事務事業名	指標名
I-1 利用者サービスの 充実	【1】 I-1-(1) 資料・情報提供サービス の充実	1. 資料・情報提供サービスの推進	①来館者数
			②レファレンス（調査相談） 件数
I-2 青少年に対するサービスの充実	【2】 I-2-(1) 中学生・高校生の読書活動の充実	2. 中学生・高校生の読書活動の推進	③中学生・高校生向けの企画 実施件数
I-3 障がい者サービスの 充実	【3】 I-3-(1) 障がい者サービス用資料 の充実	3. 障がい者サービス用資料の貸出の推進	④デジター図書貸出数
			⑤大活字本貸出数
			⑥朗読 CD 貸出数
II-1 多種多様な市民ニーズに対応できる 人材の採用・育成	【4】 II-1-(1) 図書館職員研修の充実	4. 図書館職員研修の実施 及び各種研修への参加	⑦研修会への参加人数（参加 件数）
	【5】 II-1-(2) 図書館職員体制の充実	5. 図書館職員体制強化の 推進	⑧職員の司書有資格者数
IV-1 読書推進のための 学習機会の充実	【6】 IV-1-(2) 職場体験等の受入	8. 職場体験等の受入の推進	⑨職場体験等の受入件数

施策（事務事業）の進捗管理チェックシート【1】 指標①②

点検評価の対象年度		令和5年度			別紙 4-(1)			
課 題		I-I 利用者サービスの充実			主管	教育委員会		
施 策 名		I-I-(1) 資料・情報提供サービスの充実			部課	生涯学習部 中央図書館		
事務事業名		1. 資料・情報提供サービスの推進						
施策 (事務事業)	施策の概要等	公共図書館における利用者サービスを充実させるため、図書館奉仕の基本的なサービスである資料・情報提供サービスを推進する。 関係法令等 ○図書館法 〈第3条第1項第1号〉 郷土資料、地方行政資料、美術品、レコード及びフィルムの収集にも十分留意して、図書、記録、視聴覚教育の資料その他必要な資料(電磁的記録(電子的方式、磁気的方式その他の人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。)を含む。以下「図書館資料」という。)を収集し、一般公衆の利用に供すること。 〈第3条第1項第3号〉 図書館の職員が図書館資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応ずるようにすること。 ○図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年文部科学省告示第172号) 第二(公立図書館)一(市町村立図書館)3(図書館サービス) (一)貸出サービス等 市町村立図書館は、貸出サービスの充実を図るとともに、予約制度や複写サービス等の運用により利用者の多様な資料要求に的確に応えるよう努めるものとする。 (二)情報サービス ①市町村立図書館は、インターネット等や商用データベース等の活用にも留意しつつ、利用者の求めに応じ、資料の提供・紹介及び情報の提示等を行うレファレンスサービスの充実・高度化に努めるものとする。 ②市町村立図書館は、図書館の利用案内、テーマ別の資料案内、資料検索システムの供用等のサービスの充実に努めるものとする。 ③市町村立図書館は、利用者がインターネット等の利用により外部の情報にアクセスできる環境の提供、利用者の求めに応じ、求める資料・情報にアクセスできる地域内外の機関等を紹介するレファレンスサービスの実施に努めるものとする。						
実際の成果・効果等		R5年度の来館者数(電子図書館来館者含む)は目標値に達していませんが、R4年度実績より増加傾向にあり、コロナ禍以前の来館者へ戻る傾向にある。 各館においては、来館者の読書意欲が沸くよう、時事的な切り口でのテーマを織り交ぜながら毎月全館で特集展示を行った。 レファレンス件数は、インターネットの普及により、いろんな情報がネット検索できることもあり目標値を達成できていませんが、利用者の知りたい、調べたいという要望には概ね応えている。						
事業に要した経費		令和5年度の図書館に関する決算額(正規職員の人件費を除く)..... 177,163,405円 ・うち図書資料費..... 27,634,381円 【新聞・雑誌等】..... 6,073,390円 【一般・児童・郷土・視聴覚資料】..... 21,422,125円 (デジタイズ図書等以外) うち図書館システム運用経費..... 22,204,683円 うち電子図書館サービス経費..... 2,924,268円						
・指標名・実績値	指標名	目標値	実績値	前年度実績値	指標名	目標値	実績値	前年度実績値
	① 来館者数 (うち電子図書館)	479,800	325,645 (24,384)	317,265 (29,913)	②レファレンス (調査相談)件数	1,740	647	591

点検評価 (内部)	評価の観点	評価	総合 評価	内部評価コメント
	達成度	4	B	●来館者数の目標値は達成できていないが、前年度よりは増加しており、コロナ禍以前に戻る傾向にある。 ●レファレンス件数は目標値には達しなかったが、利用者の求める資料への回答は概ね応えることができている。
	今後の方向性	4		●電子図書館利用の促進に加え、図書館を利用したことがない方々へのアプローチに力を入れるため、図書館の利用 PR やレファレンスサービスの周知広報を行う。 ●R6 年度はレファレンスサービスの取組の一つとして、全館でレファレンスサービスの巡回展示を実施する。また、各館の図書館だよりでレファレンス事例を紹介する。

別紙 4-(2)

点検評価 (外部)	評価の観点	評価	総合 評価	外部評価コメント
	達成度	4	B	○レファレンス件数について、前年度実績は上回っているが、同様の取り組みを実施しても、目標値の達成は厳しい。目標値を見直すか、または取り組みを抜本的に変える必要があると考える
	今後の方向性	4		○課題解決と指標（取り組み）について、複合的に見るため、もっと複数の指標設定が必要。 ○SNS の活用や巡回展示など広報に力を入れてほしい。また、レファレンスについては、利用者の求める資料を提供できた割合など質的評価が好ましいのではないかと考える。

施策（事務事業）の進捗管理チェックシート【2】 指標③

点検評価の対象年度		令和5年度		別紙 4-(1)	
課 題		I-2 青少年に対するサービスの充実	主管	教育委員会	
施 策 名		I-2-(1) 中学生・高校生の読書活動の充実	部課	生涯学習部 中央図書館	
事務事業名		2. 中学生・高校生の読書活動の推進			
施策（事務事業）	施策の概要等	スマートフォンやインターネットの普及に伴い、中学生・高校生のヤングアダルト層の公共図書館離れが深刻になりつつあるなかで、活字に触れる機会を増やすとともに本を読む楽しさを再確認してもらえるよう、中学生・高校生の読書活動の充実を図る。			
		関係法令等 ○図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年文部科学省告示第172号) 第二(公立図書館)一(市町村立図書館)3(図書館サービス) (四)利用者に対応したサービス ア(児童・青少年に対するサービス) 児童・青少年用図書の整備・提供、児童・青少年の読書活動を促進するための読み聞かせ等の実施、その保護者等を対象とした講座・展示会の実施、学校等の教育施設等との連携			
実際の成果・効果等		近隣中学校とは、全国読書週間、なは教育の日に関連して、子どもたちが書いたおすすめ本のPOPカードの掲示と紹介本の展示・貸出などの企画が実施できた。 その他、高校生との企画は、実施に至っていない。 大幅な貸出UPにはつながらないが、若い世代を少しでも来館につなげる取り組みとなった。			
事業に要した経費		図書館運営事業の行事用消耗品費			
値・実績値 指標名・目標	指標名		目標値	実績値	前年度実績値
	③ 中学生・高校生向けの企画実施件数		6	6	8

点検評価 (内部)	評価の観点	評価	総合 評価	内部評価コメント
	達成度	4	B	●目標値は達成できたが、高校生向けの企画ができなかったので、評価は4とした。
	今後の方向性	3		●中学生向けの企画を継続し、高校生向けの企画にも取り組み若い世代の図書館利用の促進を図る。 ●令和6年度は、市内の小中学生へ電子図書館を利用することができるIDを配布することで、電子図書館の周知と利用に繋げる。

別紙 4-(2)

点検評価 (外部)	評価の観点	評価	総合 評価	外部評価コメント
	達成度	3	B	○中高生の読書活動推進の取組として中高生向けの企画実施件数を指標に挙げているが、別のアプローチも検討すること。その際、指標に対象者の利用率なども追加設定することが望ましいと思われる。 ○市立図書館の場所も分からない子供達もいる。学校を通じての周知が弱い。 ○中学生向け・高校生向けと区分する必要はないので対象年齢全体を考えたサービスを構築し、基準・指標にするべきではないだろうか
	今後の方向性	3		

施策（事務事業）の進捗管理チェックシート【3】 指標④⑤⑥

点検評価の対象年度		令和5年度			別紙 4-(1)			
課 題		I-3 障がい者サービスの充実			主管		教育委員会	
施 策 名		I-3-(1) 障がい者サービス用資料の充実			部 課		生涯学習部 中央図書館	
事務事業名		3. 障がい者サービス用資料の貸出の推進						
施策 (事務事業)	施策の概要等	障がいのある方等へのサービスを充実させるため、デージー図書（文字・音声・画像を再生できる電子図書）や大活字本・朗読CD等資料の充実を図る。 期待される効果として ①障がいのある方々に読書の楽しみを広げていくことができる。 ②視覚障がいのある方のみならず、学習障がいや知的障がいのある方等にも活用することができる。 ③文化・情報面のバリアフリー化を推進することができる。						
		関係法令等 ○図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年文部科学省告示第172号) 第二(公立図書館)ー(市町村立図書館)3(図書館サービス) (四)利用者に対応したサービス ウ(障害者に対するサービス) 点字資料、大活字本、録音資料、手話や字幕入りの映像資料等の整備・提供、手話・筆談等によるコミュニケーションの確保、図書館利用の際の介助、図書館資料等の代読サービスの実施						
実際の成果・効果等		◆デージー図書の周知取組 ○出向いてデージー図書の利用方法を説明した。 ・市内小中学校(特別支援学級):小学校2校、中学校3校 ◆デージー図書や大活字本等障がい者サービスの周知取組として特集展示を実施した。(2館) デージー図書蔵書数:314点 朗読CD貸出数:480点 大活字本蔵書冊数:1,780冊						
事業に要した経費		図書資料費……………27,634,381円 うち(デージー図書)……………10,000円 うち(朗読CD)……………48,400円 うち(大活字本)……………80,466円						
指標名・実績値	指標名	目標値	実績値	前年度実績値	指標名	目標値	実績値	前年度実績値
	④ デージー図書貸出数	50	81	48	⑥朗読CD貸出数	400	512	230
	⑤ 大活字本貸出数	1,630	2,375	1,621				

点検評価 (内部)	評価の観点	評価	総合 評価	内部評価コメント
	達成度	5	A	●3つの指標すべてにおいて目標値を達成した。 デージー図書については、学校の特別支援学級へ出向いての周知活動により貸出数が増えたが、対象児童・生徒の保護者への案内はできなかった。
	今後の方向性	4		●対象児童・生徒の保護者へ案内を検討し、自宅でも利用してもらえるよう周知を行う。 広く周知を図るため、全館でデージー図書や朗読CD、大活字本等の展示特集を行う。

別紙 4-(2)

点検評価 (外部)	評価の観点	評価	総合 評価	外部評価コメント
	達成度	5	A	○デージー図書については、学校の特別支援学級へ出向いての周知活動に効果が表れている。今後も職員のマンパワーを考慮しながら効率的に周知していただきたい。
	今後の方向性	4		○大活字本など高齢者の利用も視野に入れて蔵書を増やしていただきたい ○障害のある方への適切な対応ができるように図書館スタッフのサービスの質を上げることも必要。

施策（事務事業）の進捗管理チェックシート【4】 指標⑦

点検評価の対象年度		令和5年度		別紙 4-(1)	
課 題		Ⅱ-1 多種多様な市民ニーズに対応できる人材の採用・育成		主管 部課	教育委員会
施 策 名		Ⅱ-1-(1) 図書館職員研修の充実			生涯学習部 中央図書館
事務事業名		4. 図書館職員研修の実施及び各種研修への参加			
施策 (事務事業)	施策の概要等	司書や一般事務職員に対する研修の企画実施及び他団体主催研修への参加促進等、職員への研修等を充実させ、職員の図書館業務の専門的職務遂行能力を高め多種多様な市民ニーズに対応できる人材を育成する。			
		関係法令等 ○図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年文部科学省告示第172号) 第二(公立図書館)一(市町村立図書館)4(職員) (二)職員の研修 ①市町村立図書館は、司書及び司書補その他の職員の資質・能力の向上を図るため、情報化・国際化の進展等に留意しつつ、これらの職員に対する継続的・計画的な研修の実施等に努めるものとする。 ②市町村教育委員会は、市町村立図書館の館長その他の職員の資質・能力の向上を図るため、各種研修機会の拡充に努めるとともに、文部科学大臣及び都道府県教育委員会等が主催する研修その他必要な研修にこれら職員を参加させるよう努めるものとする。			
実際の成果・効果等		コロナ禍以降Web配信(オンライン・オンデマンド)の研修が主流となり、国立国会図書館研修や全国公共図書館研究会などの研修も、Web配信になり複数名受講することができた。 他団体主催のWEB研修にも各自積極的に参加し、図書館職員としての資質・能力を向上させた。			
事業に要した経費		WEB研修受講等のため要した経費なし。			
指標名・目標値・実績値	指標名		目標値	実績値	前年度実績値
	⑦研修会への参加人数(参加件数)		90(12)	110(31)	83(17)

点検評価 (内部)	評価の観点	評価	総合 評価	内部評価コメント
	達成度	5	A	●令和 5 年度は参加人数、参加件数とも目標値を達成した。
	今後の方向性	5		●令和 6 年度も職員の研修機会の確保を市立図書館の組織目標として掲げ、人事面談等を通して、研修の必要性を伝えていく。

別紙 4-(2)

点検評価 (外部)	評価の観点	評価	総合 評価	外部評価コメント
	達成度	5	A	○リアル参加でしか得られない学びもあると思われるので、予算確保含めて計画的な育成に取り組んでもらいたい。
	今後の方向性	5		○制度改善という意味では、職員が参加したい研修を提案できる環境づくりなども有効だと考える。 ○多種多様な市民ニーズに対応できるための指標なので、図書館に特化した研修以外のものもカウントしてはどうか ○他市町村図書館の見学や交流を図ってはどうか

施策（事務事業）の進捗管理チェックシート【5】 指標⑧

点検評価の対象年度	令和5年度	別紙 4-(1)		
課 題	Ⅱ-1 多種多様な市民ニーズに対応できる人材の採用・育成	主管 部課	教育委員会	
施 策 名	Ⅱ-1-(2) 図書館職員体制の充実		生涯学習部 中央図書館	
事務事業名	5. 図書館職員体制強化の推進			
施策（事務事業）	施策の概要等	専門職である司書を配置し、管理運営及び職員体制の充実を図ることで、多種多様な市民ニーズに対応できる人材を育成する。		
		関係法令等 ○図書館法 第四条 図書館に置かれる専門的職員を司書及び司書補と称する。 2 司書は、図書館の専門的事務に従事する。 3 司書補は、司書の職務を助ける。 ○図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年文部科学省告示第172号) 第二(公立図書館)一(市町村立図書館)4(職員) (一)職員の配置 ②市町村教育委員会は、市町村立図書館が専門的なサービスを実施するために必要な数の司書及び司書補を確保するよう、その積極的な採用及び処遇改善に努めるとともに、これら職員の職務の重要性にかんがみ、その資質・能力の向上を図る観点から、第一の四の②に規定する関係機関等との計画的な人事交流(複数の市町村又は都道府県の機関等との広域的な人事交流を含む。)に努めるものとする。		
実際の成果・効果等		レファレンスサービスの対応やサイバー攻撃後のデータ整理など、司書の専門性を発揮した。		
事業に要した経費		特になし		
指標名・目標値・実績値	指標名	目標値	実績値	前年度実績値
	⑧職員の司書有資格者数(司書の割合)	43	45 (62.5%)	44 (60.2%)

点検評価 (内部)	評価の観点	評価	総合 評価	内部評価コメント
	達成度	5	A	●実績値が目標に達した。
	今後の 方向性	4		●司書の情報検索能力をもっと活かせるように、レファレンスサービスの周知やパスファインダーの作成など、その専門性を市民や行政にアピールしていく。

別紙 4-(2)

点検評価 (外部)	評価の観点	評価	総合 評価	外部評価コメント
	達成度	5	A	○司書の専門性についての理解を図る機会を工夫してほしい。
	今後の方向性	4		○図書館法の「職員配置」に「専門的なサービスを実施するために必要な数の司書及び司書補を確保するよう」とある。指標の目標値についてのその文面の「必要な数」としての妥当性を検証する必要がある。 ○アンケート回答に職員配置の不足の指摘があった。増員を検討してはどうか

施策（事務事業）の進捗管理チェックシート【6】 指標⑨

点検評価の対象年度	令和5年度	別紙 4-(1)		
課 題	Ⅳ-1 読書推進のための学習機会の充実	主管 部課	教育委員会	
施 策 名	Ⅳ-1-(2) 職場体験等の受入		生涯学習部 中央図書館	
事務事業名	8. 職場体験等の受入の推進			
施策 (事務事業)	施策の概要等	公共図書館の果たす役割や業務内容を広く理解してもらうため、また子どもの読書活動を継続的に推進するため職場体験の受入を実施する。 関係法令等 ○図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年文部科学省告示第172号) 第二(公立図書館)一(市町村立図書館)3(図書館サービス) (四)利用者に対応したサービス ア(児童・青少年に対するサービス) 児童・青少年用図書の整備・提供、児童・青少年の読書活動を促進するための読み聞かせ等の実施、その保護者等を対象とした講座・展示会の実施、学校等の教育施設等との連携 (五)多様な学習機会の提供 ①市町村立図書館は、利用者及び住民の自主的・自発的な学習活動を支援するため、講座、相談会、資料展示会等を主催し、又は関係行政機関、学校、他の社会教育施設、民間の関係団体等と共催して多様な学習機会の提供に努めるとともに、学習活動のための施設・設備の供用、資料の提供等を通じ、その活動環境の整備に努めるものとする。		
		職場体験・インターンシップは高校、大学及び就労支援施設から計31件、施設見学は近隣小学校やこども園からの依頼を計12件受け入れた。合計43件。 職場体験・インターンシップで受け入れた学生の多くが、図書館の仕事がこんなに多くあることに驚いており、実際の体験をすることで職業意識が高まったと喜んでいた。 施設見学では主に小学2年生が来館するが、館内の見学、市立図書館の本の冊数や資料の種類の多さに感動している様子が伝わってくる。 図書館について知ってもらい、読書推進の取組としてインターンシップ、施設見学受け入れは大切な業務であると感じている。子どもたちや学生が公共図書館について学ぶ機会として今後も継続して取組んでいく。		
事業に要した経費	事業に要した経費なし			
指標名・目標値・実績値	指標名	目標値	実績値	前年度実績値
	⑨職場体験等の受入件数	60	43	33

点検評価 (内部)	評価の観点	評価	総合 評価	内部評価コメント
	達成度	4	B	●目標値には達しなかったが前年度実績は上回った。 コロナ禍以前にもどりつつある。
	今後の方向性	4		●職場体験等を積極的に受け入れし、児童生徒や学生に公共図書館の役割 や業務内容を広く理解してもらう機会を提供し、図書館に興味・関心を持 ってもらい図書館利用につなげていきたい。

別紙 4-(2)

点検評価 (外部)	評価の観点	評価	総合 評価	外部評価コメント
	達成度	4	B	○前年度と比較すると受け入れた件数は増えて人数は減っている。一回当 たりの受け入れ人数を減らした分、質の高い受け入れができたともいえ る。 ○職場体験等の手続について、オンライン化など利便性を図ってほしい。
	今後の方向性	4		○図書館を親しんでもらうという点で非常に有効な取り組みだと考える が、読書推進のための学習機会の充実という課題に対しては、別の指標も 検討してほしい。 ○学校単位の職場体験や見学だけでなく「一日図書館司書体験」「バック ヤードツアー」など、個人や単発でも参加できる企画があると良い

令和 5 年（2023 年）度「めざそう値」の達成度等の点検評価のまとめ

「『那覇市立図書館』運営の基本的な考え方」の施策の進捗管理として、下記のように「指標」と「めざそう値」の設定、評価点検を行ってきた。

2010 年度	那覇市立図書館運営の基本的な考え方を制定。 2010 年度から 2014 年度までの指標とめざそう値を設定。
2015 年度	ビジョンの文言修正及び重点施策の体系を見直した。 2015 年度から 2019 年度までの指標とめざそう値を設定。 これまで 4 つ観点（必要性・効果効率性・緊急性・今後の方向性）から評価していたが 2015 年度の評価から 2 つの観点（達成度・今後の方向性）に変更した。
2019 年度	2020 年度から 2024 年度までの指標とめざそう値を設定。
2020・2021 年度	コロナ禍のため 2019・2020 年度の外部評価が実施できず内部評価のみ実施。
2022 年度	2022 年度から指標の「来館者数」の実績値に、電子図書館アクセス数を加えた。また、めざそう値を達成していた「デジター図書貸出数」「大活字本貸出数」「朗読 CD 貸出数」については、2023 年度から上方修正を行った。

【評価の概要】

令和 5 年（2023 年）度「めざそう値」の達成度等の点検評価のまとめ				内部 評価	外部 評価	
指標名		めざそう値	実績値			達成率
1	資料・情報提供サービスの充実				B	B
	① 来館者数	479,800	325,645	0.68		
	② レファレンス（調査相談）件数	1,740	647	0.37		
2	中学生・高校生の読書活動の充実				B	B
	③ 中学生・高校生向けの企画実施件数	6	6	1		
3	障がい者サービス用資料の充実				A	A
	④ デジジー図書貸出数	50	81	1.62		
	⑤ 大活字本貸出数	1,630	2,375	1.46		
	⑥ 朗読CD貸出数	400	512	1.28		
4	図書館職員研修の充実				A	A
	⑦ 研修会への参加人数（参加件数）	90（12）	110（31）	1.22（2.58）		
5	図書館職員体制の充実				A	A
	⑧ 職員の司書有資格者数	43	45	1.05		
6	職場体験等の受入				B	B
	⑨ 職場体験等の受入件数	60	43	0.72		

【評価の総括】

指標のめざそう値の達成度について、令和 5 年（2023 年）度の点検評価を実施した。達成しためざそう値は 6 つ、未達成は 3 つという結果になった。また、総合評価の内部評価は A 評価が 3 項目、B 評価が 3 項目、外部評価も同じ結果となった。（C・D・E 評価はない）外部評価において、もっといろんな指標をあげれば多面的な評価ができるといった意見や事業評価と指標が適切でないなど、指標設定の在り方を今後見直したい。また、中学生・高校生の読書活動を支援する取り組み自体が難しいと思う。他自治体の事例を研究しながら、小学生高学年も視野に入れるなど工夫しながら地道に取り組んでいきたい。